



組合員の皆様へ

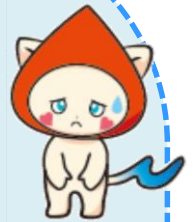
生き生きだより



令和3年もあっという間に1ヶ月が経過しました。
県内では、コロナウイルス感染は徐々に減りつつはありますが、
引き続き、感染予防に努めていきましょう！
コロナウイルスも大変ですが、今回はこの季節によく請求がある
よく似たふたつの「**こども**」の**呼吸器感染症**についてです。

①. RSウイルス感染症 / ②. ヒトメタニューモウイルス感染症

① **RSウイルス**は、主に秋から冬にかけて流行する風邪のウイルスの一種です。このウイルスは、2歳までにほぼ全員が感染するというありふれた風邪の病原体ですが、年齢や基礎疾患の有無、免疫力、アレルギー素因などの要素によって、重症化する場合があります。



② **ヒトメタニューモウイルス**は気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種です。1～3歳の幼児の間で流行することが多く、小児の呼吸器感染症の約5%から10%ほどは、このウイルスによるものと考えられています。特に乳幼児や高齢者において重症化することもあり、注意が必要とされます。

○ 症 状：咳、熱、鼻水、悪化するとゼイゼイ(ヒューヒュー)という呼吸、喘息様気管支炎や細気管支炎、呼吸困難になることも！

※予防法は、手洗い、うがい、マスクの着用、接触する物の消毒等、コロナ予防と同じ！



○入院共済金支払事例 8,000円 × 5日 = 40,000円

0歳女の子-RSウイルス感染症による細気管支炎で5日間入院

○入院共済金支払事例 8,000円 × 4日 = 32,000円

1歳男の子-ヒトメタニューモウイルスによる気管支肺炎で4日間入院



氏名・住所・電話番号・勤務先・振替口座の変更はありませんか？
変更があった場合は、長崎医療共済事務局まで、ご連絡ください。

 **長崎医療共済生活協同組合**

午前9時～午後17時まで受付
(土日祝日、年末年始は除きます)

フリーダイヤル

0120-927-966

<https://www.nagasaki-iryokyosai.jp>